

## 令和7年度 藤沢西高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	公務の内外を問わず教育の専門家としての自覚、意識を高め、教職員としてのアイデンティティを確立する。	<p>○不祥事防止会議を中心に、啓発資料を活用した研修会を実施した。テーマにより関係職員を研修担当にたて、職員会議で注意喚起の研修会を行った。</p> <p>○「公立学校教職員の倫理に関する指針」を徹底し、倫理観を高くもって業務にあたることを職員全員で確認した。</p>
職場のハラスメント未然防止	職員の職務能力、意欲等の向上と信頼関係のある職場環境を維持する。	<p>○パワハラ防止指針等の趣旨を踏まえ、職員室内に啓発資料を配架し、ハラスメントに対する意識の向上を図った。</p> <p>○管理職、職員間での日常的な会話を大切にし、些細なことでも「報告」「連絡」「相談」する風通しのよい職場環境に努めた。経験年数の浅い職員への目配りや悩み事を抱えないよう声掛けを行った。</p>
わいせつ・セクハラなどの未然防止	わいせつ・セクハラ行為に対する認識を深め、人権意識を高める。	<p>○生徒への適切な対応を徹底し、SNSの使用厳禁等、疑念を抱かれる行動について、事例をもって徹底できた。</p> <p>○生徒指導の複数対応、生徒の人権に配慮した対応が徹底できた。</p>
体罰、暴言等の不適切指導の未然防止	生徒の人権に配慮した適切な生徒指導を行い、体罰や不適切指導を未然に防止する。	<p>○生徒への身体的接触を厳に禁じ、日常の言動での身体的・心理的体罰について理解を深め、人権意識を持った生徒対応を徹底した。</p> <p>○生徒、保護者との丁寧な対応に努め、学校と家庭との信頼関係のある関係づくりを行った。</p>
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類等の適切な取扱い	正確で公正な選抜業務や成績処理を行う。また、関係書類の発行に係る適正な事務処理を徹底する。	<p>(入学者選抜)</p> <p>○業務の特殊性、重要性の認識を高くし、職員全体で事故防止に取り組み、確認・点検の複数対応等、組織的体制を整えた。</p> <p>(成績処理等)</p> <p>○成績処理マニュアルに基づいて、複数による点検等、組織的なチェック体制で業務にあたった。</p>
個人情報管理・情報セキュリティ対策	個人情報管理の意識向上を図り、情報セキュリティ対策を講じて紛失・漏洩等の未然防止を図る。	<p>○個人情報の原則持ち出し禁止を徹底した。</p> <p>○個人情報の適切な管理を徹底し、パスワードの設定など、二重の管理を推進した。</p> <p>○試験問題、解答用紙等の管理マニュアルの徹底やシュレッダーの禁止等、組織的に事故防止体制を整えた。</p>

交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	法規遵守を徹底し交通事故、飲酒運転を未然に防止する。	○公務、非公務問わず、交通法規の遵守に高い意識で臨み、日常的に啓発資料やチェックシートで点検を行い、事故防止の意識啓発を継続して行った。
業務執行体制の確保	業務執行に係る共通理解・共通認識を深め、業務執行体制に係る事故の発生を未然に防止する。	○職員間のコミュニケーションを大切にし、特定の職員への業務の偏りや職員が孤立化を防ぎ、職員間で声掛けを行うなど、気配りできる環境づくりに努めた。 ○職員の「働きやすさ」「働きがい」を高めるよう職場環境の改善に努めた。
財務事務等の適正執行	県費、私費で公正な予算編成と適正な執行を行い、事故を未然に防止する。	○「私費会計基準」「私費会計事務処理の手引」の理解を深め、適切な会計処理に努めた。 ○中間監査、年度末監査を実施し、適切な執行の点検・確認を行った。

## ○ 令和7度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

1年を通して、全職員で事故・不祥事根絶に向けて組織的に取り組むことができた。不祥事防止会議が中心となり、月例で職員研修会を実施できた。啓発資料のテーマをさらに広げ、一人ひとりが気付きのある内容とすることができた。

管理職として、働き方改革をさらに進め、職員の「働きやすさ」「働きがい」が高まるよう一人ひとりにあった仕事の進め方ができるよう職員一人ひとりを見守ることができた。

管理職への「報告」「連絡」「相談」を徹底することができた。気に掛かることは、些細なことでも一人で抱えることなく周囲と連携した対応に努め、事故の根絶に向けて一人ひとりが意識を高く持って業務に臨むことができた。

衛生委員会等を通じて、職員が健康的に職務に当たられる環境改善に向け課題を整理した。

(令和8年度に取り組むべき課題)

引き続き、わいせつ事案の根絶、人権意識をもった教育活動を最重要課題に位置づけ、県教委の提言に基づく取組を継続する。啓発・点検資料等を活用した研修会を継続する。また、「働き方改革」の意識をさらに進め、休暇取得の促進等、職員一人ひとりがワーク・ライフバランスのとれた充実した生活を送るためにも、日ごろからの関係づくりに努め、現場の声を大切にしていく。メリハリある業務遂行を図り、職員にとって「働きやすさ」「働きがい」のある職場とともに、より高いワーク・エンゲージメントを目指していく。

不祥事防止会議が中心となり、全職員で事故・不祥事根絶に臨み、地域、県民から信頼される学校づくりに向け一丸となって取り組んでいく。